

日本での暮らしと学び ― フィリピン人としての経験

東京から田原本へ

日本で暮らすことは、私にとってかけがえのない、忘れられない経験となっています。

現在、私は奈良県田原本町という自然豊かな地域に住んでいます。以前暮らしていた都会に比べると、ここでの生活はとても静かで穏やかです。

まだ田原本での暮らしは始まったばかりですが、すでに地域の皆さんに温かく迎え入れていただいていると感じています。私が来日したのは春の始まりの頃で、静かな山々、咲き誇る花々、人通りの少ない道、そして美しい夕焼けが、すぐに私の心を落ち着かせ、安心感を与えてくれました。

また、地域の方々の親切さのおかげで、新しい環境への不安も思っていたよりずっと小さくなりました。

ゴールデンウィークには、友人の Mae 先生と一緒に、自転車で明日香村まで行きました。そんな長い距離を自転車で走ったのは初めてでしたが、「やる気」と「努力」、そしてもちろん「祈る気持ち」があれば、どんな距離でも乗り越えられるのだと感じました。

道中では、美しい田んぼや昔ながらの家並み、自然に囲まれた景色の良い道を通り、その時間そのものが特別な思い出になりました。明日香村に到着したときには、その歴史ある雰囲気と穏やかな空気にとっても感動しました。まるで昔の日本へタイムスリップしたような気持ちになり、日本の田舎ならではの静かな美しさを味わうことができました。

新しい経験を楽しんでいる一方で、故郷を恋しく思う瞬間もあります。家族と離れて暮らすことで、「大切な人たちがそばにいてこそ、その場所は“家”になるのだ」ということを改めて実感しました。特に静かな田舎の風景の中にいると、家族や大切な人たちのことをより強く思い出します。

それでも、日本での暮らしは、日本文化だけでなく、自分自身についても多くのことを教えてくれています。私は今、より自立し、忍耐強くなり、新しい経験に心を開けるようになってきています。

一年を通して気候の変化が少ない国で育った私にとって、日本の四季を体験できることは、この旅の中でも特に素晴らしいことの一つです。

最初に心を奪われたのは春でした。満開の桜を見たとき、景色全体がまるで魔法のように感じられました。公園や川沿い、そして何気ない街角までが淡いピンク色に包まれ、あまりの美しさに、私は何度も写真や動画を撮ってしまいました。

春から夏へと季節が移るにつれて、気温は暖かくなり、景色もさらに緑豊かになっていきました。夏の暑さは時に厳しいですが、お祭りや花火、にぎやかな夜の雰囲気が、夏を楽しく特別なものにしてくれます。また、この時期になると、地域全体がより活気づいていることにも気づきました。

東京に住んでいた頃に、日本の秋と冬はすでに経験していますが、田原本の秋を迎えることを今からとても楽しみにしています。田原本は木々や山に囲まれているので、紅葉の季節に

は、さらに美しい景色が広がるのではないかと考えています。

また、この地域では冬に雪があまり降らないと聞いていますが、東京で初めて雪を見て、実際に触れたり、初めて雪だるまを作ったりした経験は、今でも大切な思い出です。こうした経験を思い返すたびに、日本での暮らしをこれからももっと知っていきたいという気持ちが強くなります。

これからも、日本での暮らしや学び、そして遠く離れた場所で「第二の故郷」を見つけていく中で感じたことや経験、学んだことを、たくさん伝えていきたいと思っています。